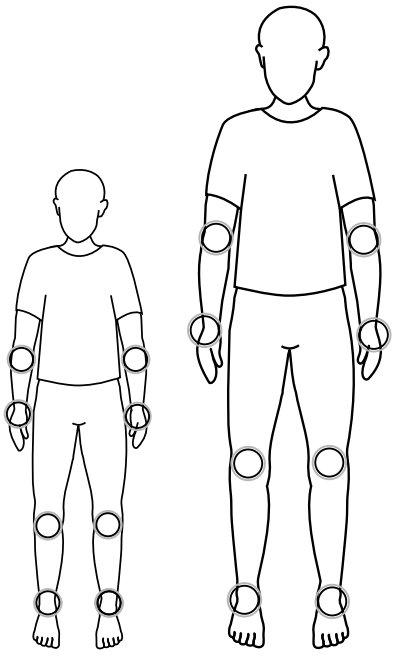
オットーボック　カスタム装具　取扱説明書
17BK1=★　モジュラー継手　コレクション　ジョイント

義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。また取扱説明書は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

【本取扱説明書で使用している記号の説明】

警告：重大な事故または損傷につながる危険性についての警告
注意：事故または損傷につながる危険性についての注意
注記：物理的破損につながる危険性についての注記
備考：装着もしくは使用に関する追加情報など



【製品概要・適用・用途】

『モジュラー継手 コレクション ジョイント 17BK1』は、手関節、肘関節、膝関節、足関節など、上肢装具用および下肢装具用の継手として、成人および小児用に用いることができます。
本製品は、上肢・下肢の各関節などの術後の安定や運動機能障害に対する支持・固定をします。

注　記	● 本取扱説明書をよく読んでからご使用ください。
⚠ 注意	● 適応については、必ず医師の診断を受けてください。 ● 義肢装具士が適切なサイズを選択し、装着者に合わせて適合してください。
注　記	● 本製品は、装具の継手としてのみご使用ください。 ● 片側もしくは両側一対で使用することができますが、両側一対での使用を推奨します。特に下肢に用いる場合には、必ず両側一対で用いてください。 ● 角度の調整および設定が可能ですが、継手に荷重をかけて立ったり、歩行したりすることには適していませんのでご注意ください。
備 考	● 本説明書でご説明する適応は推奨になります。

【禁忌】

以下の症状がある場合は、本製品を装着する前に必ず医師に相談してください。
装着される部位に皮膚疾患、異常および損傷、または炎症などが見られる場合。浮腫などを含むリンパ管の流れに対する異常が見られる場合。四肢の知覚異常が見られる場合。

【安全に関する注意事項】

注 記	● 不適切な使用による破損： 本製品は、荷重をかけて立ったり、歩行したりすることには適していません。機能の損失や、本体の変形をまねくおそれがありますので、継手を固定や伸展ストップにした状態で歩行したりしないでください。 ● 装着者、医療従事者、介護者には、本製品の主要な機能および装着方法などについて必ず説明をしてください。
⚠ 注意	● 服などの巻込みを防ぐために、必要に応じて、継手用カバーなどをご使用ください。 ● 過度の加熱処理による破損の危険 構成部品の破損をまねくおそれがあるため、熱処理により二次成形したり再成形したりすることは絶対に行わないでください。 ● 装着者に装具を渡す前に、継手が動くこと、またロックが安全にかかることを確認してください。

【構造および構成部品】

継手本体はアルミでできており、ベアリングワッシャーとブッシュはジョイントナットで連結されています。
本製品は、屈曲 120 度から伸展 20 度の範囲で動きます。また、ウォームギア機構を採用しているため、無段階に任意の角度で設定することが可能です。本体には調節用の六角レンチが付属しています。

(1) 継手上部パーツ
(2) 継手下部パーツ
(3) モード切替レバー
(4) ベアリングワッシャー
(5) 六角差込み口
(6) ジョイントナッド
(7) 角度表示目盛（-20° ～ 120° ）

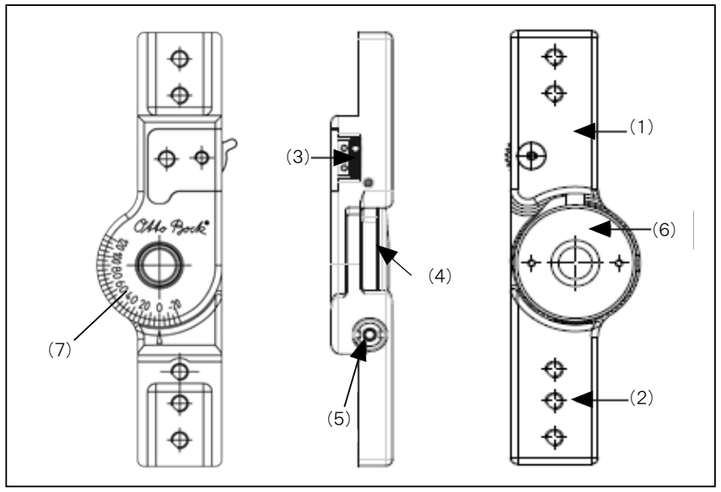


図 1

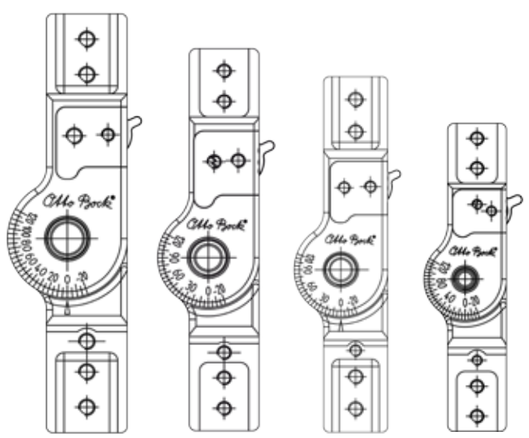
【サイズの選択】

装着者の身長を目安にし、使用する部位に対応する適切なサイズを選択してください。

発注品番	左右	支柱幅
17BK1=R4	右	12 mm
17BK1=R3		14 mm
17BK1=R2		16 mm
17BK1=R1		20 mm

発注品番	左右	支柱幅
17BK1=L4	左	12 mm
17BK1=L3		14 mm
17BK1=L2		16 mm
17BK1=L1		20 mm

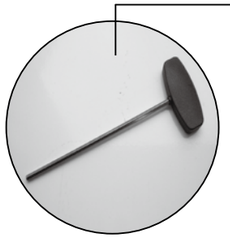
身長	手関節	肘関節	膝関節	足関節
小児 ～ 1m	=L/R4	=L/R4	=L/R4	=L/R4
小児 1m ～ 1.40m	=L/R4	=L/R3	=L/R3	=L/R3
成人 ～ 1.60m	=L/R4	=L/R3	=L/R2	=L/R2
成人 1.60 ～ 1.90m	=L/R3	=L/R2	=L/R1	=L/R1

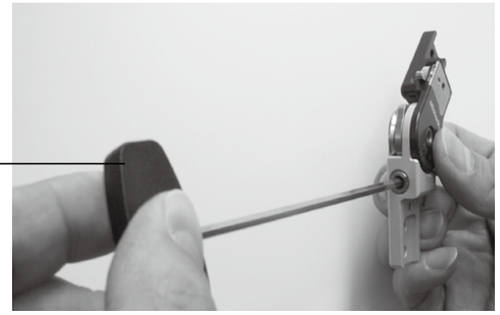


注 記	● 義肢装具士および医療従事者が適切なサイズを選択してください。 ● 継手に左右の記載がありますので、手関節・膝関節・足関節にはそのままご使用ください。 ● 肘関節に使用する際には、関節の動きが他の関節と逆になりますので、左右逆の製品をご発注ください。

【角度調整】

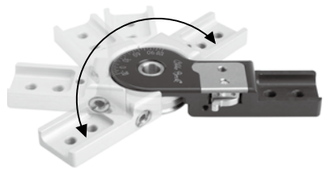
継手の角度調整は付属の六角レンチ（3mm）を使用して行なってください。（写真①）
モード切替レバーを緑、黄色、赤の位置に合わせることで、以下の 3 種類のモードに切替わります。





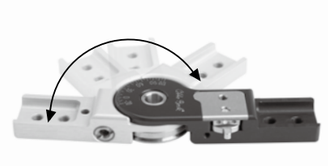
写真①

モード 1 ：可動域フリーへの切替
切替レバー【緑】（写真②）
屈曲 120 度から伸展 20 度の範囲で自由に動きます。この設定により、一時的な装具の着脱が楽に行えます。



写真②

モード 2 ：最大伸展角度への切替
切替レバー【黄】（写真③）
設定した角度（最大伸展角度）まで動きます。装具の着脱が楽に行えます。



写真③

モード 3 ：角度設定
切替レバー【赤】（写真④）
設定した任意の角度で固定することが可能です。

写真④

⚠ 注意	● 不適切な方法で角度設定を行なった場合の破損の危険： 継手に負荷がかかった状態で、角度変更を行わないでください。角度調整を行う際は、負荷がかかっていないことを確認してから行なってください。

【支柱の選択と連結方法】

下記より適切な支柱を選択します。
1 本単位での販売になりますので、近位側と遠位側用に2本ご注文ください。

発注品番	対象継手	支柱幅	厚み	長さ
17F52 =12x3x220	17BK1=RL/R4	12 mm	3 mm	220 mm
17F52 =14x3x220	17BK1=RL/R3	14 mm	3 mm	220 mm
17B6 =16	17BK1=RL/R2	16 mm	5 mm	410 mm
17B6 =20	17BK1=RL/R1	20 mm	5 mm	410 mm

支柱の連結方法

① モジュラー支柱を継手に差込んで固定させます。その際、奥までしっかりと差込めない場合は、支柱を削るなどして調整してください。
② 継手と支柱を連結部分で固定させる際は、必ず金属類に適した接着剤を使用してください。（『オットーボックの接着剤 636W28』については、オットーボック・ジャパンにお問合せください。）
② 接着剤を使用する前に、シンナーや溶剤などで連結部分の金属表面の脱脂処理を行なってください。
③ 接着主剤と硬化剤が入っている 2 本のチューブを混ぜ合わせ、継手の連結部分に塗付けます。
④ 各支柱を連結部分に差込み、『フィリップス ヘッドネジ 501T7=7.5x9xM5』でねじ止めします。
⑤ 接着剤が初期硬化するまで 3 ～ 4 時間おいてください。さらに完全硬化するまでには約 16 時間以上が必要となります。

【お手入れ方法】

製品を長く安全にお使いいただくために、下記の点に留意してお手入れをしてください。

⚠ 注意	● ロック機構の明らかな磨耗は、装着者の安全性に影響を及ぼす可能性があります。必要に応じて、ロック機構のパーツやボルトなどを交換してください。
注 記	● 6 ヶ月ごとに本製品の機能と使用状況を点検されることをお勧めします。 ● ロック機構が適切に機能するよう、継手の機構内に埃やゴミが入らないようにしてください。

【メーカー責任】

オットーボック社はメーカーとして、本取扱説明書で指定された取扱方法に従って製品を使用し、ならびに適切なお手入れ方法に従って定期的にメンテナンスした場合にのみ、その責任を負います。オットーボック社はまた、本説明書の指示に従って製品の定期的なお手入れと確認を行なっていただくことをお勧めいたします。

【CE 整合性】

本製品は欧州医療機器に関するガイドライン 93/42/EEC の要件を満たし、ガイドラインの付表Ⅸの分類基準により、医療機器クラス Ⅰ に分類されています。オットーボックはガイドラインの付表Ⅶに則り、本製品が CE 規格に適合していることを保証いたします。（注）但し、日本においては本製品は医療機器の分野には分類されていません。

お問合わせ先

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 www.ottobock.co.jp

〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F TEL:03-3798-2111(代表) FAX:03-3798-2112

O-IFU-C-17BK1-201304